

市長の活動報告（令和7年11月）

11月4日（火曜日） 四国国道協会と21世紀・活力ある道づくりを目指す四国連合協議会合同による中央要望活動

私が会長を務める四国国道協会と、四国4県の自治体首長が連携して道づくりを進める「21世紀・活力ある道づくりを目指す四国連合協議会」が、合同で中央要望活動を行いました。

今回の要望活動では、「四国8の字ネットワーク」の早期全線開通と、各県の実情に応じた道路整備の促進について、国土交通省や財務省、地元選出国會議員に強く要望しました。

私は四国国道協会の会長として、同時に阿南市長としても、徳島県南部自動車道および阿南安芸自動車道の早期全線開通をはじめ、「四国8の字ネットワーク」の完成、さらには阿南道路の整備促進を訴えました。

引き続き、「災害に強く安全・安心な阿南」の創生に向け、国・県との連携を一層緊密にし、道路整備の促進に全力で取り組んでまいります。



国土交通省との意見交換会

21世紀・活力ある道づくりを目指す四国連合協議会・四国国道協会



11月15日（日曜日） 「史跡若杉山辰砂採掘遺跡」普及啓発講演会「いにしへの鉱山採掘」

令和元年に国の史跡指定を受けた「史跡若杉山辰砂採掘遺跡」の普及啓発を目的に、講演会「いにしへの鉱山採掘」を開催しました。

国の史跡指定以降、毎年講演会を重ねてきたことで認知度は着実に高まりました。さらに、本年10月まで開催された「大阪・関西万博」において辰砂鉱石が展示され、全国、そして世界に本遺跡の価値を発信する機会となり、まさに「阿南市の宝」として位置づけられたと実感しています。

本講演会では、鉱山地質学に精通される九州大学の井澤英二名誉教授にご講演いただき、市民や考古学愛好家の皆さまにも多数ご参加いただくなど、盛況のうちに終了しました。

引き続き、私自身が先頭に立ち、本市の宝である「若杉山辰砂採掘遺跡」をはじめとする阿南の魅力を積極的に発信してまいります。



11月23日（日曜日） 広域防災訓練 in 新野キャンパス 2025

阿南光高校新野キャンパスにて開催された「広域防災訓練 in 新野キャンパス 2025」に出席しました。

南海トラフ巨大地震や近年頻発する豪雨災害など、多様な自然災害への備えがこれまで以上に求められていることから、地域住民の皆さんや地元自主防災会が主体的に防災訓練を実施していただけることを、大変心強く思っています。

自らの命を守り、地域で助け合う力が被害の軽減に直結することからも、実践的な訓練を継続することが、地域全体の防災力向上につながると考えています。

今後も市民の皆様が安全・安心で暮らせる阿南をめざし一丸となって防災・減災対策の強化に取り組んでまいります。



11月30日（日曜日） 阿南市総合防災訓練

住民の防災意識の高揚と、地域の防災力向上並びに防災関係機関の連携強化による災害対応能力の向上を図ることを目的として毎年実施している「阿南市総合防災訓練」を、今年は橘港小勝緑地をメイン会場として開催しました。

当日は、自衛隊をはじめ、市内外の防災関係機関、災害支援協締結企業、地元の住民の皆様に参加を合わせて、約300人の方にご参加いただきました。

この度の訓練では、室戸沖南海トラフを震源とするマグニチュード9.1の大地震が発生し、市内では震度7を観測、多くの家屋が被災し、沿岸部には大津波警報が発表され、地震動により、福井、橘地区では、家屋倒壊のほか、電気や水道などのライフラインも寸断されたことを想定し、ドローンやレスキューバイクによる物資輸送訓練や消防防災ヘリによる孤立者救出訓練、また関係団体協力のもと倒壊家屋からの負傷者救出訓練、トイレ環境の整備訓練などを行い、複合災害を想定した訓練となりました。

今後もしなやかで強く、あらゆる災害に立ち向かえる『市民総ぐるみの防災体制』を整え、防災、減災対策に万全を期してまいります。

